

第3回常任理事会報告

日 時 平成22年6月14日（月）午後1時～同2時40分
場 所 日本歯科医師会 801会議室
出席者 <会 長> 江藤一洋
<副 会 長> 住友雅人
<総務理事> 黒崎紀正
<常任理事> 川添堯彬、山崎芳昭、福田仁一、江里口 彰
寺下正道、上西秀則、伊藤公一、栗原英見、
荒木孝二、佐々木啓一
日本歯科総合研究機構
<研究部長> 石井拓男
欠席者 <副 会 長> 井出吉信
<常任理事> 佐藤田鶴子、後藤滋巳

[議長 黒崎総務理事]

1. 開 会

住友副会長より、開会の辞。

2. 挨拶

江藤会長より、挨拶がなされた。

3. 報 告

1) 一般会務報告

黒崎総務理事より、次の資料に基づき、報告がなされた。

一般会務報告（平成22年5月21日～6月13日）

□第2回常任理事会報告

2) 第22回日本歯科医学会総会準備状況報告

川添会頭より、次の資料に基づき、報告がなされた。

□第22回学会総会関係報告（平成22年5月21日～6月13日）

3) 会計現況報告

山崎常任理事より、平成21年度学会会計収支計算書（決算整理前）及び、平成22年度5月末現在の学会会計（決算整理前）、第22回日本歯科医学会学術大会会計収支計算書の報告がなされた。

4) 重点計画の推進

(1) 歯科医療への学術的根拠の提供

▶平成22年度プロジェクト研究について

住友副会長より、標記の件で資料に基づき報告がなされ、金額は記載のとおり確認。

(2) 歯科医療技術革新の推進

江藤会長より、ポータブル歯科用機器の開発研究について、資料に基づき報告がなされた。

(3) 専門医制度の在り方の検討

江藤会長より、日歯と方向性について協議している旨、報告がなされた。

(4) 学会機構の改革

特になし。

(5) 国際連携の推進

▶中華口腔医学会への企業制作DVD提供に係る契約について

江藤会長より、標記の件について報告がなされた。

(6) 歯科医学未来構想の構築

特になし。

5) 会長報告

江藤会長より、日歯役員会提出資料に基づき、①平成 22 年度国際規格回答原案作成調査のための ISO/TC106 日本委員会及びその分科会委員就任許可のご依頼、②日歯会員種別の論点整理案、③2010 年度 F D I 常設委員会委員の推薦について、④第 37 回アジア太平洋歯科学学生会議 (APDSA) 2010 日本大会に対する支援について、報告がなされた。

6) その他

▶ 中医協報告

住友副会長より、中央社会保険医療協議会総会（第 172 回、第 173 回）について、資料に基づき報告。

▶ 評議員・予備評議員の交替について（日本歯科理工学会）

黒崎総務理事より、資料に基づき報告。

▶ 歯科治療時の全身的偶発症アンケート調査の協力依頼について

黒崎総務理事より、資料に基づき報告。

▶ ビスホスホネート系薬剤に係る「使用上の注意」の改訂について

黒崎総務理事より、資料に基づき報告。

▶ 平成 23 年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞及び

若手科学者賞受賞候補者の推薦について

黒崎総務理事より、資料に基づき報告。

▶ 第 1 回（平成 22 年度）日本学術振興会 育志会受賞候補者の推薦について

黒崎総務理事より、資料に基づき報告。

▶ 研究業績褒賞（上原賞）候補者の推薦について

黒崎総務理事より、資料に基づき報告。

全体の一括質疑応答として、

○ 日本歯科麻酔学会のアンケート調査について

川添常任理事より、日本歯科麻酔学会が実施するアンケート調査では「偶発症」という用語を使用しているが、現在は「合併症」に変換されたと認

識している旨発言があり、意見交換を行った。

その結果、関係学会に照会し、それを踏まえ、用語委員会にて最終結論を出すこととし、併せて本学会が定義した日付も明確にすることです承。

また、住友副会長より、同アンケート調査の結果を定期的に日本歯科医師会雑誌に掲載してはどうかと提案があり、江里口常任理事より検討したい旨回答。

○中華口腔医学会への企業制作DVD提供について

江里口常任理事より、企業と中華口腔医学会が締結する契約書（案）の中で記されているDVD著作権と複製等の問題について質した。

江藤会長より、本契約は中国の歯科臨床技術教育の充実を図ることを目的とする一方で、企業は中国に対する自社製品の売り込みを考えている。著作権問題は中華口腔医学会が監視し、裁判は日本の法律で行う契約であると説明。

○ビスホスホネート系薬剤に係る「使用上の注意」の改訂について

江里口常務理事より、標記における歯科・口腔外科に関する安全性情報は厚労省と協議の上作成したが、日本口腔外科学会として内容補足をお願いしたい旨要望。

4. 協 議

1) 重点計画の推進

(1) 歯科医療への学術的根拠の提供
特になし。

(2) 歯科医療技術革新の推進
特になし。

(3) 専門医制度の在り方の検討
特になし。

(4) 学会機構の改革
特になし。

(5) 国際連携の推進

▶国際交流委員会への諮問について

江藤会長より、国際交流委員会への諮問について諮られ、全会了承。

主な諮問内容は下記のとおり。

①日中歯科医学大会の在り方、②JADRならびにIADRとの連携強化、③留学生ネットワークの充実と活用について

(6) 歯科医学未来構想の構築

特になし。

2) 事業計画の推進

(1) 第84回評議員会の開催について

黒崎総務理事より、資料に基づき諮られ、全会了承。

(2) 平成22年度専門分科会等助成金の配分について

黒崎総務理事より、資料に基づき諮られ、原案どおり全会了承。

(3) 後援名義貸与について

黒崎総務理事より、資料に基づき諮られ、全会了承。

(4) 役員派遣について

黒崎総務理事より、資料に基づき諮られ、全会了承。

3) その他

▶広報委員会への諮問について

江藤会長より、広報委員会への諮問について諮られ、全会了承。

なお、諮問内容は下記のとおり。

①歯科医学会の広報活動、②和文雑誌検索システム、③本会会員登録の一元化について

全体の一括質疑応答として、

○専門医制在り方について

石井研究部長より、進捗状況および今後の方向性を質問。

江藤会長より、今執行部では専門医制在り方検討会を設立し、学会・日歯のほかマスコミおよび外部の有識者を加えて検討を行うこととしている。現在は学会と日歯との間で事前に意見交換し、大方の方向性を決めるべく論議を重ねている旨、回答。

石井研究部長より、26 専門看護師に関連し、歯科衛生士の専門性について意見開陳あり。

江藤会長より、総歯科医療費の拡大を目指すという問題は日本歯科衛生士会と日本歯科医師会の間で検討されるべき問題とした上で、学会としては専門性になる理論武装を行う際には、しかるべき関係分科会に協力を求め、検討したいと回答。

5. 閉 会

住友副会長より、閉会の辞。